

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①耐震性の確保を図る整備

【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	100.0	100.0
中学校	100.0	100.0
高等学校		
特別支援学校		
幼稚園		

【所見】

平成12年度までに実施した耐震診断により、平成18年度末において、文部科学省が示した耐震基準に満たないことが確認されている小・中学校校舎及び屋内運動場22棟については、計画期間中に全て計画どおり耐震補強工事を実施することができた。これにより、小・中学校とも本計画期間内に耐震化率100%達成ができた。
しかし、東海地震の強化地域である静岡県に位置している本市においては、県の耐震基準に満たない校舎が7棟残っているため、これらの施設についてもさらなる耐震化が必要と考え、早急かつ計画的に耐震化を進めていくこととする。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

平成17年度に実施した学校施設等における吹付けアスベスト等使用実態調査で、屋根折板裏打ちアスベストフェルト材（飛散の恐れ無し）の使用が明らかになった藤枝中学校屋内運動場については、除去工事を実施したことにより、本市の全学校施設のアスベスト対策工事が完了した。

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="radio"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

耐震基準に満たない小・中学校校舎及び屋内運動場22棟については、耐震性の確保など安全性を図ると共に、外壁等の老朽改修工事を実施することで、今後も長期間学校施設として使用できるような施設整備を行った。
また、過度な騒音により、教育環境が阻害されていた青島中学校に対しては、教室に空調設備を配置することで、教育環境の向上を図った。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="radio"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

--

2 事後評価の時期及び方法について

平成22年9月8日及び平成22年11月22日に外部有識者で構成されている「藤枝市まちづくり交付金評価委員会」において、施設整備計画に基づく事業実施状況の報告及び事後評価を実施した。これら事後評価については、藤枝市ホームページにて公表していく。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

事後評価の総合所見としては、施設整備計画で計画していた事業については、全て計画どおり実施できた。評価委員会より「綿密な計画のもと仮設校舎を建てないで耐震補強工事を実施したことでコストの縮減が図られたこと、また耐震補強工事と併せて外壁等の老朽改修工事を実施したことも評価に値する。今後の整備計画への反映としては、県の耐震基準に満たない施設についても早急に対策が実施できるよう要望するとともに、さらに地盤調査を含めた対策についても検討することを要望する。」以上の意見を踏まえて、今後の施設整備計画を作成する際の参考としたい。